

教科または領域		算数
対象学年		小学校4年生
授業場所		コンピューター室・教室
単元		はしたの大きさの表し方を考えよう (小数)
単元の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・単位量に満たない端数部分の大きさを表すのに、小数が用いられることを理解する。 ・小数も整数と同じ十進構造になっていることをとらえる。 ・単位とする数に着目すれば、小数の加減計算は整数と同じ考え方でできる。
単元の指導計画		<p>第1次 はしたの大きさの表し方 (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを利用して単位量に満たない量の表し方を知る。 ・小数の意味を理解する。 <p>第2次 小数のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線に表せることを理解する。 ・「小数第1位」の用語を知り、位取りを理解する。 ・小数の構成や大小関係を理解する。 <p>第3次 小数のたし算とひき算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数の計算と同じように、位をそろえて小数の計算ができることを理解する。
本時のねらい		単位量に満たない端数部分の大きさを表すのに、小数が用いられることを理解する。
指導計画	導入	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>1リットルとあと少しの水のかさの表し方について、考えさせる。</p> <p>長さの単位mmを想起させ、10等分することにつづかせる。</p>
	展開	<p>2 新村勲のトップページの「4年フラッシュサイト小数」の画面を見せる。</p> <p>1リットルを10等分したものを利用して、はしたの水の量を入れたり出したりすることで、視覚で理解させる。</p> <p>小数の読み方を理解させる。</p> <p>長さについても、同じようにはしたの長さの表し方について知り、小数で表し方について理解させる。</p> <p>1リットルを越える水の量や、1メートルを越える長さについても理解させる。</p>
	まとめ	<p>3 小数の表し方についてまとめる。</p> <p>単位量の1を10等分したものが0.1であることを確認する。</p>
<p>その他：</p> <p>はしたの量を表す小数や分数は4年生の児童にとっては、たいへん抵抗が大きいと思われる。図に描いたり教具を工夫したりしても、黒板に貼り付けると教室の後ろの児童まで見えないことが多い。また、量の増減を演示することも困難であった。</p> <p>今回の実践では、一人ひとりの児童の目前で増減を一目で示すことが容易であることや、教師の示す量を児童が自分でクリックできることが、児童の理解をスムーズにしたと思われる。</p>		